

発行責任者 森越 初美

T E L 03-5320-7412 (直)

内 線 63-210

F A X 03-3349-1502

Eメール info@eiseikyoku-shibu.com

U R L http://www.eiseikyoku-shibu.com

えいせい

6兆円もある一般会計は

都民が安心して暮らせる

都政のために使うべきだ

福祉保健局との2011年度予算人員要求交渉で、高橋副支部長の発言(要旨)

大規模開発より 都民生活の重視

世界的金融危機で不況が続く、確かに、この2年間で都税収入は1.1兆円も減っています。2010年度の一一般会計予算は5年連続で6兆円台の予算編成を行っています。しかも、投資的経費には近年にない8055億円を投入し、大規模開発、三環状道路などのインフラ整備に1兆円を超える予算を組んでいます。

職員定数の削減は都民サービスの切捨て

国や他団体が税収減にあえいでいる時に、このような予算を組めるのは、石原都政誕生以来、都民サービスを徹底

して切り捨て、職員を43%も削減し、都財政の「構造改革」を行ってきたからに他なりません。加えて、2005年度から2008年度にかけて、膨大な税収増があり、2兆円以上もの「基金」を溜め込みました。オリンピック準備基金4000億円をはじめ、都民のためにすぐにでも使える基金は1兆円を超えているといわれています。

大企業優先の大規模開発は中止し 都民の暮らしを

税収不足をことさら強調していますが、税不足が問題なのではなく、不足しているのは、都民生活を守る気持ちがないということだと思います。

税収減なのに、破綻した新銀行東京に1,400億円、築地市場の豊洲移転の用地買収費に1,281億円など、無駄と

浪費、不要不急の事業に8兆円から10兆円もの莫大な税金を投入しています。

老人福祉費は全国47位、救急病院数は42位など、首都東京の保健・医療・福祉をこれ以上削れないところまで削っています。

障害者・高齢者など社会的弱者への手当ては早急に

貧困と格差がさらに広がっている中で、障害者の暮らし



しは自立支援法によって、困難を極めています。局の予算(案)をみると、障害者施策市町村包括補助事業がありますが、通所訓練などの都独自施策を組み入れ、一括して自治体に補助する制度に変えたため、補助金の増額や新設が困難になります。

「後期高齢者医療制度」の廃止を望む声は強く、医療費の負担は高齢者の生活を圧迫しています。東京では900億円あれば75歳以上の医療費を無料にできます。

職員が生き生きと働ける職場づくりが都民のニーズにも応える

人員要求ですが、今、職場の士気が高まっていると思いませんか。職員が生き生きと活気に満ちて働いていますか。そうだと

と言える管理職がどれだけいるでしょうか。都は「10年後の東京」の実現に向け、徹底した内部努力、少数精鋭、効率的な執行体制の構築を前提とし、民営化、非常勤職員、人材派遣などの活用により、都政運営をすすめるとしています。が、職場は度重なる定数削減で職場は本当に疲弊しています。サービス残業やメンタルヘルス不全



など、待ったなしでの改善が求められています。人も足りず技術の継承ができなくなれば、組織全体が弱体化し、自治体機能が低下してしまい、結局都民に大きなしわ寄せが行ってしまう。

自治体職場から官製ワーキングプアをなくすべき

都の非正規労働者は22.8%と言われてはいますが、正規職員でなければできない仕事は沢山あり、効率化にはつながりません。官製ワーキングプアをなくし正規職員を増員してほしいと思います。

局は私たちの切実な要求を受け止めて、粘り強く総務局に迫っていただきたいと思います。

えいせい

2011年度福祉保健局予算人員重点要求に対する回答

2010年11月16日

要 求 事 項	回 答
○医師・看護師・コメディカルの大幅定数増を行うこと。	★事業運営に必要な人員の確保に、引き続き努めていく。
○新規採用を計画的に行い、組織と人材を育成すること。特に公衆衛生・健康安全研究センター等の拡充強化を行うこと。	★計画的な採用の重要性は局としても認識しており、これまでも機会を捉えて、関係部署への働きかけを行ってきている。なお、公衆衛生の拡充として、「感染症対策体制の整備強化に向けた各保健所保健師1名の増」を要求している。
○偶発的な超過勤務をなくし、業務量に見合った定数配属を行うこと。	★超過勤務の縮減は局の最重要課題であると認識しており、本年4月より開始した月45時間超等の報告をはじめとして、縮減の取組を引き続き促進していくとともに、必要な人員については、要求している。
○「医療をともなう福祉施設」は医療・保健・福祉の連携を具体的に実現する東京都独自の施設・施策として、直営で整備すること。	★重症心身障害児(者)施設については、第二期東京都障害者福祉計画において、各施設における入所児(者)の状況や人材確保、民間におけるサービス提供の状況、新たな施設体系における位置づけ等を踏まえ、そのあり方を引き続き検討していくとしている。
○府中療育センターの建て替えはPFI手法をやめ、都立で行うこと。	★府中療育センターについては、建物の老朽化に伴う全面改築に向け、具体的な方針をキャンパス全体の整備に合わせ、策定することになっている。
○府中療育センターと多摩療育園は統合し、外来、入院等医療部門を持つ総合療育センターとしての中核・拠点施設とすること。	
○現業職員の業務拡大を行わないこと。府中療育センターの調理職場の直営を堅持すること。	
○北療育医療センターの保育室を再開すること。	★現在のところ、院内保育室の実施予定はない。
○各施設、在宅支援を行う地域療育センターと位置づけ、人員増と設備拡充を図ること。とりわけ、通所施設の人員配属を2:1から2:1.5に引き上げること。	★在宅重症心身障害児施策については、通所施設の整備について重点的に進めるとともに、通所定員の規模増については、特別支援学校卒業予定者及び現在の一人当たりの通所日数の適正化を勘案して計画している。なお、重心児を受け入れる地域の通所施設に対しては、施設整備の補助や、看護師を含め職員の人件費及び通所バスの委託料等の財政的支援のほか、重心施設のスタッフによる技術的支援をバックアップ事業として実施している。なお、通所施設の人員配置基準については、現時点では見直しを考えていない。
○総合精神保健福祉センターの宿泊訓練部門の全面廃止をやめ、医療観察法や長期入院患者の中間施設的機能として在置すること。	★ホステルは、症状の悪化などにより、一時的に地域生活が難しくなった場合に、短期的に利用できる施設として、機能の転換を検討しているところである。
○医学研究所の予算を増額すること。また、研究推進のために、任期付職員の採用をやめ、身分の安定した都の職員として採用すること。	★プロジェクト研究のほか、がん・認知症対策研究や新型インフルエンザに関する基礎研究など、健康・医療に関する都民の切実なニーズに応えるため、必要な研究予算の要求を行っているところである。研究推進のためには、少数精鋭による活気ある研究環境を醸成し、研究テーマに応じて優れた研究員を適時適切に確保していく必要がある。都派遣職員の退職見合いに対しては任期付職員を採用していく。
○看護師養成数を拡大すること。	★東京都看護職員需給見通しや都立病院改革の動向を踏まえながら、都立看護専門学校のある方について関係部と協議・検討を行っている。
○動物愛護相談センターの老朽化した庁舎を全面改築すること。「犬・猫の収養業務の愛護化」は行わないこと。	★動物愛護相談センターのあり方等を検討し、改築に向けて調整を行っていく。動物を取り巻く社会的環境の変化を踏まえ、監視業務においてマンパワーを効果的に活かす必要があることから、今回、所要の組織改正を要求している。
○監察医務院の監察医補佐を増員すること。	★事業運営に必要な人員の確保に、引き続き努めていく。
○保健所・公衆衛生行政の拡充強化に必要な専門職員を増員すること。	★必要な人員の確保に努め、欠員の状況を踏まえながら計画的に職員を確保するとともに、人材育成の観点も見据えた職員配属を行っていく。
○感染症対策の強化策として、感染症対策係の保健師及び保健対策係の事務職を増員すること。	★感染症対策体制の整備・強化に向け、各保健所の保健師1名増を要求している。引き続き、事業運営に必要な人員の確保に努めていく。
○「医療安全支援センター」機能を有する保健医療系の人員を増やすこと。	★事業運営に必要な人員の確保に努め、人材育成の観点も見据えた職員配置を行っていく。
○代行運転を少しでも軽減するために、自動車任意保険に加入する予算を確保すること。	★庁有車の自動車任意保険への加入については、その予算の確保に向けて要求している。
○公衆衛生医の確保に努めること。	★非常に厳しい状況ではあるが、様々な募集方法により、必要な人員の確保に努めていく。

行動日程

署名のお願い

★2011年度都庁職予算・人員要求書名(11月30日まで)

アンケートのお願い

★東京自治労連2011年春闘アンケート(1月14日まで)

行動・集会など

★多摩湖からカタクリ(村山温泉)へ

11月28日(日)午前10時 西武遊園地駅集合

★東京母親大会 12月5日(日)午前10時

日本教育会館(地下鉄新宿・三田・半蔵門線神保町駅)

★ずっと住みつづけたい私たちの街首都東京集会

12月14日(火)午後6時45分

日比谷公会堂(地下鉄丸の内線 霞が関駅下車)

衛生局支部定期大会

★11月26日(金)13:30(第2庁舎32F)
都庁職大会議室

★11月26日(金)お昼休み
衛生局支部書記局27階南側

ラ・フランスの販売

1パック3個入り 300えん(組員価格)
350えん(その他)